



第5回 全国高校生

# プレゼン甲子園®

おも  
私の念いを伝えられるのは、私だけ。

プレゼンテーション力が必須のこの時代  
誰が一番自分の念いを伝えることができるのか  
集え！ 全国の高校生諸君

応募資格 高校生1チーム3人まで（個人でも可）

テーマ 多様性と寛容性が織りなす未来に向けての提言

日程 5/23（金）～6/11（水） 申し込み・予選動画提出（17:00まで）  
※学校での一括申し込みの場合、6月4日（水）申請締切  
7/12（土）～7/13（日） オンラインによる地域ブロック選抜  
【7/18（金） 予選通過チーム発表（10チーム）】  
**8/23（土） 決勝大会（ハピリンホール：福井県）**

表彰	最優秀賞兼文部科学大臣賞	1チーム	ブロック賞 各ブロック上位3チーム 学校奨励賞
	優秀賞	3チーム	
	特別賞	1チーム	
	奨励賞	5チーム	
	スポンサー賞		

優勝トロフィー  
「∞の砂時計」



主催 全国高校生プレゼン甲子園実行委員会  
共催 福井県教育委員会 一般社団法人プレゼンテーション協会  
特別協賛 JTB 学研ホールディングス 伊藤忠商事 ベネッセコーポレーション

協賛 福井銀行 アイシン福井 NOLTYプランナーズ  
熊谷組 アイビックス 日本ピーエス 福井村田製作所 千總ホールディングス 日華化学 勝木書店 ホーコース 三谷商事 NTT西日本福井支店  
ジャクエツ SHINDO 福井鋳螺 敦賀海陸運輸 米澤物産 松文産業

後援（特別協力） 清川メッキ工業 日本マイクロソフト 福井県立恐竜博物館

後援 文部科学省 全国高等学校長協会 （公社）2025年日本国際博覧会協会 情報経営イノベーション専門職大学  
福井新聞社 NHK福井放送局 FBC 福井テレビ





全国高校生プレゼン甲子園は、テーマについて深く考察し、自分の考えや<sup>おも</sup>念いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、総合的なプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とする大会です。

## 応募規定

高校生1チーム3人までで応募してください（個人でも可とします）

※1校から何チームでも応募可。ただし、同一学校でチームを組み、応募は1人1回とする。

※令和7年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（3年生まで）に在籍していること

※地域ブロック大会や決勝大会に参加できること

※地域ブロック大会や決勝大会に進出したチームについては、報道機関や大会公式ホームページ等での顔写真、氏名、学校名などの掲載、および予選動画や決勝大会の映像のYoutube上での公開について同意できること

## テーマ

予選・決勝共通テーマ

多様性と寛容性が織りなす未来に向けての提言

人には性別や年齢、国籍や文化など多様な背景が存在しています。今、日本においても世界においても、その人がもつ背景にとらわれず互いに認め合い、未来を切り拓くことが求められています。多様性と寛容性が織りなす未来において、一人ひとりがWell-beingを実感できる社会を実現するために、私たちにできることは何か。あなたの考えと具体的なアクションを提言してください。

## 応募方法

### ①プレゼン資料作成

テーマを研究し、プレゼンの構成を考える

※プレゼンに使うツールは自由です。PowerPointなどのプレゼンアプリにこだわらず、スケッチブックに手描きしたものを使うなど、自分の考えを一番伝えることができる方法を工夫してください。

ただし、プレゼン動画撮影後の動画編集は不可とします。（例：文字テロップの挿入、効果音の追加など）

### ②動画を撮影

プレゼンテーションを動画で撮影する

※予選のプレゼン時間は3分以内（厳守）

※スマートフォンで撮影もOK

※発表者が画面に見えていること（一時的に見えないのは可）

※プレゼン動画は、通しで撮影し、編集はしないこと

### ③公式HPの応募ページから動画をアップロード

メールアドレスを入力すると、ログインIDとパスワードが発行される

動画アップロードサイトにログイン後、必要事項を入力して、データをアップする

### ④AIからフィードバックを受け取り、再度動画をアップロード（初回を含めて最大3回）

アップロードした動画の中からエントリーする動画を選択して、最終的にエントリー完了

公式サイトに

①「プレゼンテーションの基礎」

②「プレゼン資料の作り方」

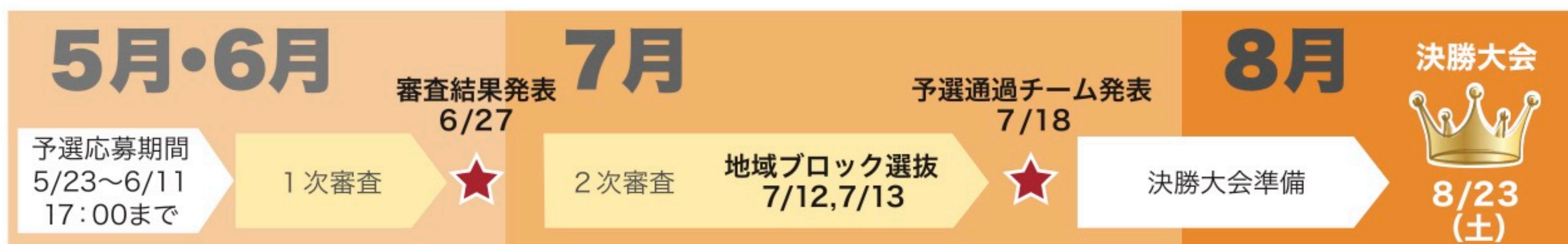
③「プレゼンの話し方」

④「動画撮影・投稿の方法」

の動画がありますので、参考に

してください（各10分程度）

## スケジュール



地域ブロック：北海道・東北(1)、関東(1)、北信越・東海(1)、近畿(1)、中国・四国(1)、九州・沖縄(1)、開催県(1)、審査委員推薦(3)  
※決勝大会に係る旅費については、規定に従い、実行委員会が負担

## 審査

予選：1次審査 応募動画を審査し、各ブロック上位3チームを選出

2次審査 プレゼン動画についてオンラインによる質疑応答を行い、決勝進出10チームを選出

決勝：対面審査 テーマに沿ってプレゼンし、その後、質疑応答を行う（プレゼン時間5分）

## 審査基準

- ①テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
- ②メッセージの伝わりやすさ、構成
- ③印象的、効果的なスライド等のビジュアル
- ④話し方、訴求力、説得力
- ⑤質疑応答における対応力（1次審査を除く）

## お問い合わせ

専用サイトから  
お問い合わせください



全国高校生プレゼン甲子園  
実行委員会事務局  
〒910-8580  
福井県福井市大手3丁目17番1号  
（福井県教育庁 高校教育課内）

## 審査委員長

前田 鎌利（一社）プレゼンテーション協会代表理事